

令和 2 年度実験動物 2 級技術者資格認定試験の 実技試験受験者へのお知らせ

令和 2 年度実験動物 2 級技術者資格認定試験の実技試験について

1. 標記については、「生体を使わない多肢選択式と記述式」で行う旨、7 月 13 日付けで受験者各位にご連絡したところです。

*既連絡内容

「従前の生体を使った実技試験と同じく、学科試験の各論で選択した動物種を対象に、飼育管理、取扱い及び実験実技等に関する事項について行います。」

2. これまで生体を使った形式であったことから、新しい形式のイメージをつかめない受験者もいることと思います。

このため、下記に類似形式の問題を掲載しますので、日動協 HP の「過去の試験問題」（実技試験概要）

<http://www.nichidokyo.or.jp/pdf/siken/1/gaiyou.pdf>

と併せて、参考にして下さい。

令和 2 年 8 月

(公社)日本実験動物協会事務局

記

多肢選択式問題（診療放射線技師国家試験、動物看護師統一認定試験）

問) 膝の MRI 検査前の準備として適切なのはどれか。

1. 患者の両手は腹部で組んだ状態とする。
2. 膝用コイルのケーブルが長い場合はループ状に配置する。
3. 膝以外の場所に湿布薬を貼っている場合は剥がさずに検査する。
4. 両側の太腿が直接接触しそうな場合は間にクッションをはさむ。
5. 条件付き MRI 対応ペースメーカーを植え込んでいる場合は制限なく検査を行ってもよい。

問) 写真に示す犬のうち、牧羊犬として作出された犬種はどれか。

1. (ボーダーコリーの) 写真
2. (ゴールデンレトリバーの) 写真
3. (ビーグルの) 写真
4. (ボストンテリアの) 写真
5. (トイプードルの) 写真

*各選択肢とも写真は割愛

記述式問題（日本核医学専門技師認定試験、1級建設機械施工技術検定試験）

問) FDG・PET 撮影従事者は FDG 薬剤投与後の患者から放射線被ばくを考慮しなければならない。従事者の被ばくを低減させるための方策を論述せよ。

問) 寒中コンクリート、暑中コンクリート及びマスコンクリートの養生にあたっての留意事項をそれぞれ記述しなさい。

問) 建設機械を用いる工事において、建設機械の騒音低減対策のため、次の①～③の項目について、留意すべき事項を具体的に記述しなさい。

①建設機械の選定

②建設機械の運転操作

③施工上の対策(建設機械の運転操作を除く)